

令和4年度 小中学生の税に関する作品コーナー

※学校・学年は受賞時のものです。

【東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞】
「復興特別所得税について考える」
主催 北沢納税貯蓄組合連合会

作 文
主催 北沢納税貯蓄組合連合会

「復興特別所得税について考える」

世田谷区立 烏山中学校 三年 片岡 希愛來

「あ、来てる。」

自宅の郵便ボストンに株式書類が届いていたと嬉しい。実は、私は中学生ながら十四社の企業の株主なのだ。社会経済には動きがあることを体感できるように、という母の考えにより誕生日に毎年一社、株をプレゼントしてもらっている。株主優待で図書カードをくれる企業が減って、何となく不況を感じている。

書類の中の一つ、配当金が書かれてある紙には、「数年前から『なお、所得税には復興特別所得税が含まれております』と書かれるようになつて気になっていた。この聞きなれない税について調べてみた。

「復興特別所得税」とは、東日本大震災からの復興財源に充てるため、二〇三年から二〇三七年まで、通常の所得税に上乗せ徴収される特別税である。既存の所得税をベースに二・二%上乗せすることで、薄く広く国民に負担を求めていた。株式などの投資で利益が出た場合は、通常は二〇%（所得税十五%+住民税五%）の譲渡益がかかるところ、二・三三五%所得税がプラスされるそうだ。

東日本大震災の時、三歳だったがよく覚えていた。親は交通規制のため帰宅できず、祖父が保育園に迎えに来てくれた。停電が起き、

暗い部屋でロウソクをつけて初めてカツラーメンを食べた。電気がなくて困るな、と思った。しかし、翌朝ついにテレビを見て、食料もなく冷たい水の中で救助を待つも大変な状況に置かれた人々をたくさん目にし、驚いた。家も街の施設も流されたこの社会の復興に数%の力添えだけでいいのか。もっと上げてもいいように感じた。

確かに「復興税」を考えるまで私も「税は国民の義務、負担になるもの」という印象が強かつた。なぜだろう。増税になると「生活の負担になる」という街の噂を集めたニュースを目にするからではないだろうか。このマスコミの情報をそのまま自分の意見として発言していないだろうか。

災害は誰にでもいつでもやってくる。日本は国土の大半が山林で、火山も多く、海岸線の多くが太平洋に接し、ブレーントが重なり合うといふ、世界でも有数の災害多発地帯だ。自分が「使う番」になることが十分ある。誰かを助けられれば、その人が払う税金で次災害にあう自分が助かることもあるだろう。税が人と人の生活と命をどんどん繋げてくれている。时限付きにせず、あらゆる災害に使える「復興税」があるとよい。名前からも使い途が明瞭で、不適切な使い方がされにくいうふに感じる。将来の有事に必要なのであればみんな現在の少しがまんは納得できると思う。今もつてている教科書も校舎も、いや学校まで歩いていく道ですら税金でできている。意識しないと感謝を忘れてしまう。中学生で意識したことを大人になっても持ち続けて、税金の使われ方を知り、納得して納税する大人になりたい。

標 語
主催 北沢間税会

北沢間税会会長賞

税が支える日本の明日 明るい未来を守るために

世田谷区立松沢中学校 大 楓 千 晴

税があるのは何のため みんなの幸せつなぐため

世田谷区立松沢中学校 山 本 佳 苗

広げよう 税の知識と 正しい理解

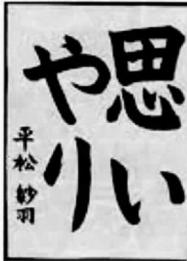


北沢法人会会长賞
城山小学校 4年
松本 濡珠 さん

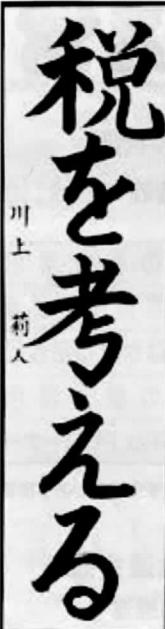


東京国税局長賞・全法連女連協会長賞
最優秀賞
船橋小学校 5年
塚原 愛子 さん

絵 は が き
主催 (公社) 北沢法人会



★ 北沢税務署長賞



川上

莉人

希望丘小学校 5年

平松 紗羽

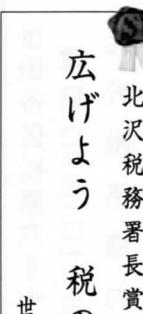
池ノ上小学校 6年

川上 莉人

書 道

主催 (社) 北沢青色申告会

★ 北沢青色申告会会长賞



北沢税務署長賞

世田谷区立千歳中学校 田山 慧大



北沢税務署長賞

世田谷小学校 6年

猪瀬 さくらさん